

「選択する未来」委員会の今後の進め方について(案)

I 基本的な方向性

- 前半では、人口急減・超高齢化に対する危機意識の共有を図ることに力点。後半は、危機克服に向けて舵を切るための具体策、選択肢や選択に基づく未来像等を提示することを目指す。
- 地域の再生を通じて、経済・社会面、人口面での縮小トレンドの転換を図ることを主眼に置いて検討を進める。
- 各委員からの提案、各WGからのインプットや、幅広く外部から意見、提言等を受け付けながら審議を深める。

II スケジュール

- ・WGでの各論の検討を先行、7～9月に各WGを集中的に開催
- ・委員会においては、地域の再生や結婚・出産・子育てのあり方など、各WGにまたがる全体的なテーマを審議
- ・10月頃に委員会・WGの合同会議形式で審議
- ・11月中旬目途に取りまとめ

III 主な進め方のポイント

1. 重点課題を絞り込んだ上で検討を深め、踏み込んだ提言を行う
 - 新しい視点からの取組が求められる課題、中長期的な視点で進めないといけない課題 等
 - ー少子化対策を抜本的に強化する方策
 - ー子どものための政策、成長の源泉としての人の働き方と育成
 - ー地域活性化に向けた動きを後押しする方策
2. 定量的、全体的に未来像を提示する
 - 人口急減、超高齢化、低成長を克服した場合と克服できなかった場合等について、複数のシナリオの下、人口、産業・就業構造、経済成長、ISバランス、財政・社会保障等のマクロの姿を試算、提示。あわせて、地域経済、地域社会の姿も提示
 - 未来像をイメージするための内外の参考事例の収集、提示
3. 幅広く様々な声を聴いた上で取りまとめる
 - (1) 国民意識の把握
 - 人口目標の設定、高齢者施策から少子化対策へのシフト、東京一極集中の是正等に対する賛否等を調査
 - ー世代、性別、地域別の差違等を分析
 - (2) シンポジウムの開催
 - 東京と地方で開催。委員会メンバーと関連分野の有識者による討論形式
 - ー一般参加者との質疑、一般参加者へのアンケート